【日本自費出版ネットワーク】メールマガジン★リバティ・パブ No.63
このメールマガジンは、NPO法人日本自費出版ネットワークの会員の皆様にお届けしています。

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――□◇□◇□◇□◇

◆NPO法人日本自費出版ネットワーク・コミュニティサロン◆
「リバティ・パブ」
2022-12-1 No.63

◇□◇□◇□◇□◇□――――――――――――――□◇□◇□◇□◇

リバティ・パブとは…
自由な思いをカタチにしていこうという人たちが集い、
情報を共有する場です。

・リバティ…Liberty(自由)
・パブ……Publication(出版)とPublic House(公共の場)、PUB(大衆酒場)を掛けて

私たちの使命は、あふれる情報を文字にとどめ、言葉を編み、あるいは絵や写真にして、
「本」に残したいという著者の思いを共有し、一緒に本を作り上げていくことです。
著者の思い描くものよりもさらに良いものに作り上げていく工程は、芸術作品を作り
出すことにも似ています。そう、自費出版は文化ですね。
リバティ・パブで一緒にこの文化を広めていきましょう。

□□ ―――――――――――――――――――――――― □□

こんにちは！日本自費出版ネットワークのメルマガ担当鳥原由美です。

3年ぶりの自費出版フェスティバルも無事終了しました！
私、僭越ながら司会を務めさせていただいたのですが、会場の喜ばしい雰囲気に
包まれて、少し緊張しましたが温かい気持ちで務めることができました。
同じ場で、同じ空気を共有することの大切さや嬉しさを改めて感じました。

それではリバティ・パブ63号をお届けします。

◆◆◆◆◆◆◆◆ CONTENTS ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

1．ニュース ……「2022日本自費出版フェスティバル」無事終了

2．お知らせ …… 次回に活かす「大賞推薦の言葉」と
「スピーチ後の作品販売」

3．お知らせ …… 12月1日から第26回日本自費出版文化賞が募集開始

4．自費出版事情… ～会員便り～№60

☆ 知っとこ旭川 その 7

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

1.ニュース …「2022日本自費出版フェスティバル」無事終了

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

「2022日本自費出版フェスティバル」が3年ぶりに11月12日（土）
東京のアルカディア市ヶ谷で開催されました。

主な内容は第25回日本自費出版文化賞の作品展示と受賞作品の即売会、
表彰式、受賞者のスピーチと今までと大きく変わりませんが、
「やはり対面のリアル開催は、皆さんの息遣いを感じていいものですね」
など同様の感想を多くの方々からいただきました。

また、司会者を中心に進行がスムーズに行ったことは、それぞれが役割を
果たしながら、かつ臨機応変に対応していただいたからと思います。
改めて運営に関わった皆さまに感謝申し上げます。

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

2.お知らせ … 次回に活かす「大賞推薦の言葉」と
「スピーチ後の作品販売」

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

今回のフェスティバルで、皆さんからいただいた感想から、次回も
活かそうという2点があります。

一つは、大賞作品の賞状を渡した後に、担当の選考委員がその推薦
理由をしっかり伝えることであります。今回の大賞で、小池一子さんが
大賞作品の推薦理由を丁寧にお話ししていただいたことが、とても
良かったということから、次回からも同じように担当の選考委員から
お話をいただこうということです。

もう一つは、受賞作品の販売です。受賞者のスピーチを聞いた後で
購入する方が急激に増え、品切れになるものも出てきました。
また、同時に作者との交流も生まれていました。
フェスティバルの目指す風景であります。
次回から、スピーチ後の販売時間の確保や、著者との交流を考えましょう。

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

3.お知らせ …12月1日から第26回日本自費出版文化賞が募集開始

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

第26回日本自費出版文化賞の募集が12月1日から始まりました。
今年も朝日新聞や時事通信経由で各地方新聞社、先月の日本経済新聞
文化欄などでの紹介記事があり、少しずつその存在が広がっています。
応募数の増加は、自費出版文化を伝え守るバロメータのようなものです。
また、会員の受注にも少なからず影響があると思います。
ここ2年の700点台、800点台を常に確保しながら1000点を目指していきましょう。

よろしくお願いいたします。

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

4．自費出版事情 … ～会員便り～ №60

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

みなさん、こんにちは！　アニバ出版の坂田千代子でございます。
四国は徳島県から会員便りを書かせていただいております。
一度しか自費出版ネットワークの会議に出席できておりませんが
鳥原さん、覚えていていただきありがとうございます。

さて、私はタウン情報誌出版社から始めて、10年前に自費出版の会社を作りました。
当時53歳での創業、ビジネスというよりライフワークのような志で始めましたが、
おかげさまで、途切れることなくお客様からご注文をいただいております。
とはいえ、時代が大きく変わっていますので、
今までのような紙媒体のままで良いのか、すでに伝統産業化していないかと
自問自答しつつ、それでも一冊一冊丁寧にお客様からのご要望に応えています。

今年は10周年となりますので、心機一転事務所を新築、年末には引っ越しします。
新しい年には、新しい環境で、チャレンジもしたいと思います。
また自費出版ネットワークの会議に参加させていただきたいです。
そのときは皆さま、よろしくお願いいたします。

株式会社アニバ出版
坂田千代子

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

☆　知っとこ旭川　その 7

□□ ――――――――――――――――――――――― □□

文化賞の表彰式で上京しましたが、皆さんに「雪は降ったか」
「コロナは大丈夫か」と声を掛けて頂き、「雪はまだです、コロナは
自分が罹りました」と答えていました。

帰ってから聞くと、旭川の初雪は11月4日だったそうです。私はコロナで
自宅軟禁中でした。初雪は地面に届く前に溶けまし。地面が真っ白になった
のは11月20日、かなり遅いです。しかも根雪にはほど遠いようです。
根雪（ねゆき）とは、積もった雪が春まで溶けないことです。

さて、冬支度について前回お話ししましたが、北海道の冬はストーブと
断熱住宅のおかげでとても暖かいのです。よく真冬に半袖でビールを飲んだり、
アイスクリームを食べてると揶揄されますが、その通りです。
逆に、TVなどでコートを着たまま食事をしたりしてるのを見ると下品だな
と思っちゃいます。ちなみに玄関は冷蔵庫並みですので、野菜などを置いて
おきます。ビール、冷酒も丁度いい按配に。

冬支度で、石炭が主流の頃はストーブや煙突を取り付けという作業がありました。
夏は邪魔なので、片付けていました。真冬でも円筒が詰まると凍えながら外して
掃除をしていました。掃除が終わって組み立て直して、再び火が付いたストーブを
家族みんなで何も言わず囲んだものです。
ところがこの頃はFF暖房にしていると煙突不要、壁に取り付けたまま夏も邪魔に
なりません。また石油燃料への配慮か、コークスや薪を焚いたりしている家もあり
ますが、設備が高額でスペースをとるので、ハイソな方のおうちと言うことで。

当社では年賀状印刷をご近所さん中心に受注していますが、毎年のように減少
してきてます。年賀仕舞の一文を見本帳に入れたら、採用が多くて驚きました。
他社には年賀状印刷を特に宣伝しないというところも出てきて
（来るものは拒まないようですが）、ライバルはコンビニになってしまいました。
私が印刷会社に入った頃（半世紀前）は印刷業者といえど葉書を一人200枚以上販売
してくれず、雪の降る中、繰り返し並んでハガキを購入したことが懐かしい思い出です。

年賀状印刷が終わって、ホワイトクリスマス、何かも忘れて忘年会、軽く大掃除、
正月休み、そして、期待の繁忙期がやってくる筈です。
北海道の大晦日はごちそうを食べて、宴会模様、みなさん、良いお年を。

株式会社あいわプリント
渡辺　辰美

**********

★あとがき

先月は2回上京しました。一回は自費出版フェスティバル、もう一回は
東京ビックサイトで行われたIGAS2022の見学でした。
IGASでは印刷機やその周辺機器は省人化、デジタル化と、人の労力を減らす分、
他のメーカーや機材との協業が見受けられました。
そこには、メーカー同士を繋げたり、協力しようとする人の繋がりが欠かせません。
このメルマガもこのネットワークの中で人を繋げたり、企業を繋げられる場で
ありたいなあ、と1年を振り返りつつ思った次第です。

今年1年ご愛読いただきありがとうございました。
少し早いですが、どうぞよいお年をお迎えください。
そしてまた、来年もどうぞよろしくお願いいたします。

最後までお読みくださりありがとうございました。

---

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp　まで、お願いいたします。

*:*:*:

電話:03-5623-5411
FAX: 03-5623-5473

http://www.jsjapan.net/

*:*:*: